

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123221082	地域ブランド論	山口 佐和子			2	選択	2前期

科目の概要

社会的に自立して生きて行く上で必要な職業に関する専門的知識・技能を身に付け、日常生活の衣・食・住および地域活性の面において貢献できる人材の育成を目指す(DP3・4)。
 そのためにこの科目では、地域の活性化につながる地域ブランドづくりに焦点化して学修する。ブランドづくりに関わる社会学的知識獲得に加え、さまざまな消費者調査によって有効性が確認されたケース事例を見ていく。また、持続可能な地域ブランディングのアイディアを出し合い、創造につなげていく。

学修内容	到達目標
① 地域ブランドづくりを語る際に必要な社会学的知識や専門用語について知り、理解する。 ② 地域ブランドに関わるさまざまな調査結果を著したグラフデータを読み解くグラフリテラシーの技能をつける。 ③ 地域ブランドとしての芽を見つけアイディアを示す。	① 地域ブランドづくりに関わる社会学的知識や専門用語について説明することができる。 ② グラフリテラシーの技能も活用し、地域ブランドにつながるものを調べることができる。 ③ 地域ブランドに関わる課題解決を提案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	自発的・積極的に学修および調査研究を進めることができる。
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできない時、人の力を借りるために声掛けができる。
	実行力	困難があっても、工夫しながら目標に到達できる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく、事実に基づいて情報を客観的に整理することができる。
	計画力	
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなく、いろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	聞き手にわかりやすく工夫のある発信をすることができる。
	傾聴力	人の話や意見を注意深く聞き、正しく理解する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、居眠り、私語などの授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するために協力することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『地域引力を生み出す観光ブランドの教科書』岩崎邦彦、日本経済新聞社、1,600円＋税
 オープンエデュケーション、愛知東邦大学「ブランド構築論」
<https://www.aichi-toho.ac.jp/about/system/openeducation>

他科目との関連、資格との関連

この科目は、ライフスタイル学科での学びのなかでビジネス・地域活性関連科目領域にあり、「地域の暮らしと生産」(1年後期)のあとに2年時で学ぶ。3年時以降、この授業で学んだことを「スタジオ」や「卒業研究」でいかすこととなる。

学修上の助言	受講生とのルール
授業時間は集中し、板書以外に口頭で説明する内容もノートにとること。 プレゼンテーションはファイル形式で作成し、デジタル化する。	学則で定められたように、遅刻3回で欠席1回とみなす。 授業中の私語、居眠り、勝手な途中退出、授業に関係ない電子機器の使用を禁ずる。 授業の課題、予習、復習に取り組むこと。 授業で配布する資料の予備は保管しないので、他の受講者からコピーさせてもらうこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	30	①	✓			授業のテーマに沿った小テストを3回行う。小テストの合計点を判定の基準とする。 知識の獲得（学修した内容および専門用語を理解できているかが評価される）：85%、知識の活用（専門用語を使って、地域ブランドについて文章が書けるかが評価される）：10%、知識による解決（地域ブランドを作り上げる戦略を立てることができるかが評価される）：5%
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①				テーマに沿ったグループワークをしてその成果を発表する。 知識の獲得（テーマに沿った文献を探して読むことができたかが評価される）：40%、知識の活用（得られた知識をもとに、情報収集を行ないまとめ、効果的なパフォーマンスでプレゼンテーションできているかが評価される）：40%、知識による解決（オリジナルティに富んだ結論・提案を導いているかが評価される）：20%
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）積極的に学修し文献や情報を探することができる。 （働きかけ力）ひとりでできない時は、他の人に声掛けできる。 （実行力）工夫しながら目標に到達できる。 （課題発見力）課題を客観的に整理できる。 （創造力）いろいろな方向から考えることができる。 （発信力）聞き手に対しわかりやすく表現できる。 （傾聴力）複数の意見を聞くことができる。 （規律性）授業のルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、複数の小テストにおいて、授業から得た知識をじょうぶんに活用し、ブランディングに関わる社会学的知識や専門用語をじょうぶんに説明できる。プレゼンテーションにおいて、準備段階から積極的に自分の役割を果たし、発表時において論理的かつ非常に効果的なパフォーマンスで、グループとしてオリジナルティに富んだものを提案できている。 A（優）の目安：授業内の課題に積極的に取り組み、複数の小テストにおいて、授業から得た知識を活用し、ブランディングに関わる社会学的知識や専門用語を説明できる。プレゼンテーションにおいて、準備段階から自分の役割を果たし、発表時において論理的かつ効果的なパフォーマンスで、グループとしてオリジナルティに富んだものを提案できている。	B（良）の目安：授業内の課題に取り組み、複数の小テストにおいて、授業から得た知識を活用し、ブランディングに関わる社会学的知識や専門用語を理解できる。プレゼンテーションにおいて、準備段階から自分の役割を認識し、グループとして意図をじょうぶんに理解した発表ができている。 C（可）の目安：授業内ですべきことを理解し、適切な行動をとることができる。複数の小テストにおいては、授業から得た知識を活用し、ブランディングに関わる社会学的知識や専門用語を一定程度理解できる。プレゼンテーションにおいて、グループとして意図を理解した発表ができている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	イントロダクション 地域引力の向上について全体像を理解する。	講義 ディスカッション	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：シラバスを読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	誘致・誘客からマーケティングへ 「地域を見る観光」から「地域を感じる観光」への変化について学修する。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	ブランドづくりとは何か 論理を超えるひとの感じるブランドについて学修する。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	地域のイメージの大切さ 「イメージ」と「地域引力」の関係性について学修する。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。テスト勉強をする。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	地域の「尖り」の大切さおよび小テスト 地域の「尖り」および小さな地域が一番になる方法について学修する。知識獲得の確認のためにブランド論に関する小テストを受ける。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。小テストを受ける。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	ブランドとシンボルおよび小テストのフィードバック ブランド力のある地域の共通点について学修する。小テストのフィードバックを聞く。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	地域引力を生み出す方法 SNSと親和性の高い引き算の発想の活用について学修する。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。	予習：授業で提示したテキストの該当する部分を読んでくる。テスト勉強をする。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「食」とブランドその1および小テスト 地域産業との連携との大切さを学修する。前回の小テスト以降に学んだブランド論に関連する小テストを受ける。	講義 ディスカッション リアクションカードのフィードバック	授業の内容を静かにしっかりと集中して聞き、ノートにとることができる。授業の内容を理解し、わからないままにしておかない。小テストを受ける。	予習：授業で提示した課題に取り組む。 復習：ノートを読み返し、授業内容を整理し、わからない点があればまとめて次回の授業で質問できるようにする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	ブランドづくりの事例 (1) ブランドづくりの事例 を学ぶ。	講義 特別講師 ディスカッション リアクションカードの フィードバック	授業の内容を静かに しっかりと集中して聞 き、ノートにとること ができる。授業の内容 を理解し、わからない ままにしておかない。	予習：授業で提示したデ キストの該当する部分 を読んでくる。 復習：ノートを読み返 し、授業内容を整理し、 わからない点があればま とめて次回の授業で質問 できるようにする。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「食」とブランド そ の2および小テストの フィードバック ブランドづくりの流れ を学修する。小テスト のフィードバックを聞 く。	講義 ディスカッション フィードバック	授業の内容を静かに しっかりと集中して聞 き、ノートにとること ができる。授業の内容 を理解し、わからない ままにしておかない。	予習：授業で提示した 課題に取り組む。 復習：ノートを読み返 し、授業内容を整理し、 わからない点があればま とめて次回の授業で質 問できるようにする。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ブランドづくりの事例 (2) ブランドづくりの事例 を学ぶ。	特別講師 ディスカッション リアクションカードの フィードバック	授業の内容を静かに しっかりと集中して聞 き、ノートにとること ができる。授業の内容 を理解し、わからない ままにしておかない。	予習：授業で提示した課 題に取り組む。 復習：ノートを読み返 し、授業内容を整理し、 わからない点があればま とめて次回の授業で質 問できるようにする。テ スト勉強をする。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ブランド構築論につい てのオープンエデュケー ションを活用する。 https://www.aichi-toho.ac.jp/about/system/openeducation 授業の感想を google formsで提出す る。	オンデマンド配信	授業の感想をgoogle formsで送る。	予習：授業全体の内容を理解する。 復習：授業のなかで学んだ社会学的 知識や専門用語等を自らの知として 活用できるようにし、オープンエ デュケーションの内容を理解する。 予習：グループ・プレゼンテーシ ョンのテーマやブランドデザインを考 える。 復習：グループ・プレゼンテーシ ョンの準備を進める。	180	主体性 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	グループ・プレゼン テーション準備 (1) テーマ、ブランドデザ イン、役割分担等を決 める。	グループ討議 講義 リアクションカードの フィードバック	チームワークを重ん じ、グループ討議に参 加できる。	予習：グループ・プレ ゼンテーションの準備 を進める。テスト勉強 をする。 復習：グループ・プレ ゼンテーションの準備 を進める。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	グループ・プレゼン テーション準備 (2)、小テ スト スライドの準備およびプレ ゼンテーションの練習をす る。前回の小テスト以降に 学んだブランド論に関連す る小テストを受ける。	グループ討議 講義	チームワークを重ん じ、グループ討議に参 加できる。小テストを 受ける。	予習：グループ・プレ ゼンテーションの準備 を進める。 復習：行ったプレゼン テーションの良かった 点と反省点をまとめ る。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	グループ・プレゼン テーション、小テストの フィードバック グループでテーマに沿っ た適切で効果的なプレゼ ンテーションを行う。	プレゼンテーション フィードバック	チームの中で、自分 の役割を全うできる。小 テストのフィードバッ クを聞く。	予習：グループ・プレ ゼンテーションの準備 を進める。 復習：行ったプレゼン テーションの良かった 点と反省点をまとめ る。	180	主体性 働きかけ 力 実行力 課題発見 力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力